

## 平成 29 年度 地域ケアプラザ事業報告書

## ■ 施設名

麦田地域ケアプラザ

## ■ 事業報告

今年度、地域ケアプラザの管理運営をどのように行ったのか、具体的に記載してください。

## 以下、事業実施評価との共通部分

## 1 全事業共通

## (1) 地域の現状と課題について

- ・ 地区の高齢化率は中区全体と比べて高く、特に後期高齢者が多いことが特徴です。独居高齢者も増加しているなか、町内会自治会単位での見守りや各事業の担い手の高齢化が進み、担い手不足が課題となっています。
- ・ 地区全体の福祉保健活動は担い手が偏り、担い手の負担も大きくなっている現状があります。偏りが出ないように地区全体で福祉課題を検討し、解決に向けた取り組みを実施できるよう、協議の場を整えることも課題として挙がっています。

## (2) 相談（高齢者・子ども・障害者分野等の情報提供）

- ・ 複雑化する相談が増えている中、区高齢障害支援課との定例カンファレンスでは区役所と地域包括支援センター（以下、包括）それぞれの特色を生かして役割分担したほか、生活困窮者自立支援事業の担当者と意見交換会を行い、適切な制度利用に繋がりました。障害分野ではみはらしポンテやぽ〜とと連携を図り、情報交換会や個別相談会を行い、必要に応じてカンファレンスや地域ケア会議を開催しました。また、子育て分野ではのんびりんことの共催事業を行ったことで、相談に繋がったケースもありました。
- ・ 高齢者ミニデイや子育てサロンの他、地域で行われている事業や行事に参加した際、相談を受けることもあり、情報収集ならびに必要な情報提供を5職種で連携し行いました。職員会議や5職種ミーティングの活用や地域活動参加報告書の回覧など、機会をつかんで共有化を図りました。
- ・ 高齢者住宅からの相談が増えていることもあり、包括職員が出向いて居住者に関する情報交換・集まりの場のニーズ収集等高齢者住宅の相談員と行った結果、住民の居場所づくりや地域ケアプラザ（以下、ケアプラザ）の周知が必要であることがわかりました。今年度は、来年度からサロンを定期開催するべく住民の方々にサロン開催の説明を行うとともに、健康体操講座を開催しました。
- ・ ケアプラザの役割が地域住民へ十分に浸透しておらず、状態が重篤化してから包括に相談があることが課題としてあがっているため、職員の顔写真入り紹介カードを作成し地域のサロン等で配布したほか、商店会にも協力を依頼し各店舗に置くことで、ケアプラザの周知及び困りごとの早期発見・早期対応に努めました。麦田町発展会では認知症サポーター養成講座を実施し、その過程でケアプラザの役割を説明したことで相談に繋がったケースがありました。
- ・ 民生委員児童委員のみなさまとは日常的な情報共有や事業の協力実施等で顔の見える関係が出来ており、ケアプラザに来たついでに気になる方の相談をして頂くことが増えています。

### (3) 各事業の連携

- ・ 包括が日頃の相談業務の中で把握している課題と、生活支援コーディネーター（以下、生活C○）や地域活動交流コーディネーター（以下、地交C○）が地域活動の中から得た情報を共有し、町内会における「新たな居場所づくり」に繋げる取組ができました。
- ・ 単位町内会自治会ごとのアセスメントシートを作成し、地区全体だけでなく小地域での課題抽出に努めました。その中で見えてきた関わりの少ない町内に関しては、5職種で協力して積極的に情報収集を行いました。また、日常的に情報共有することで地域課題・ニーズの把握に努め、一体的な地域支援を行っています。
- ・ 地域支えあい連絡会（以下、支えあい連絡会）を実施するにあたり、5職種は基より地域支援チームメンバーである区役所・区社会福祉協議会（以下、区社協）と事前に準備検討を重ねた結果、ボランティアグループ立ち上げに向けた具体的な方向性が見えてきました。
- ・ 5職種会議と職員会議を毎月実施し、生活支援体制整備事業の進捗状況シートや地域支援記録を用いて、それぞれの専門性を生かした検討を行い、サロン立ち上げなどの事業展開に繋げました。

### (4) 職員体制・育成・公正・中立性の確保

- ・ 所長および常勤職員について適切に配置しました。当ケアプラザでの欠員は見られませんでしたでしたが、職員が退職する場合は前もって公募による募集を行い、欠員とならないような体制を法人としてとっています。
- ・ 法人における職員研修基本体系に基づき、ケアプラザにおいても職員の研修計画を作成するとともに、研修担当職員を配置し調整等を行うことで、参加しやすい体制を整えました。職員全体で共有する必要がある内容については、職員会議等の機会を活用し、伝達研修を行っています。また、その他の研修については報告書を作成し、非常勤職員を含めて回覧し共有を行っています。  
※階層別・業務別等研修への参加数は77件でした。
- ・ 常勤職員については、法人内の「求められる職員像」を活用して弱みを明らかにし、研修等に参加することでスキルアップを図るという取組を法人全体で行っています。
- ・ 職場に配属された新人職員には先輩職員（新人育成リーダー）がOJT担当者として育成指導を行うことで、新任職員が職場環境や業務に早く慣れると同時に、先輩職員の成長と後輩の育成を大切にする職場の雰囲気づくりに取り組みました。
- ・ 法人で定めている「職員コンプライアンス行動指針」を職員全体会議で確認し、職員一人ひとりが意識出来るようコンプライアンスハンドブックを携帯しています。

### (5) 地域福祉保健のネットワーク構築

- ・ 単位町内会で実施されている老人会やサロン、夏祭りや盆踊り等の町内行事に参加し、ケアプラザの認知度を高め顔の見える関係づくりを行いました。また、潜在化している地域課題の発掘を行うよう心がけました。
- ・ 単位町内会ごとにアセスメントシートを作成し、それぞれの地域におけるニーズ・課題の明確化を行いました。その他、包括へ寄せられる相談や地域に出でつかんだ情報をもとに、単位町内会に働きかけを行った結果、麦田町では次年度からサロンが開始されることとなりました。
- ・ 商店会（横浜山手やってみよう会・麦田町発展会以下同）が行うハロウィンイベントの実施協力等を通して、自治会町内会や民生委員児童委員（以下、民生委員）以外とのネットワーク構築に努めた結果、麦田町発展会では見守りのある商店街をめざし認知症サポーター養成講座を行いたいとの声が上がリ、3月に実施しました。
- ・ 地域保健福祉計画地区計画策定メンバーを含む支えあい連絡会を実施し、地域の状

況について共有しながら、住民同士が助け合い、支え合える仕組みづくりに向けて検討しました（4回実施）。

- ・多世代交流の機会作りや地域の福祉団体同士の協働を目指し、支えあい連絡会主催で「地域ふれあいまつり」を実施し、約370名の方に参加していただきました。
- ・子育てサロン事業について、地区社協事業として民生委員やボランティアが担い手となり、ケアプラザは後方支援として会場の確保や広報を行うなど役割分担をして実施しました。
- ・災害発生時等の対応について、地域防災拠点の防災訓練に参加すると共に、麦田町内会防災訓練の実施協力を行いました。
- ・ケアマネジャー（以下、ケアマネ）のサロン等を通じ、ケアマネや介護保険サービス事業所との関係維持・強化に努めました。
- ・麦田清風荘とは介護予防講座を共催実施し（全4回）、地域ふれあいまつりでも場所の提供を依頼するなど協力体制が出来ています。

#### (6) 区行政との協働

- ・5職種と所長は基より、区社協や行政の多くの課の方に参加をいただき、地域支援チーム会議（以下、チーム会議）を毎月開催しました。今年度はメンバーの入れ替わりが多かったため、町歩きを行ったり、ケアプラザ以外の職員も地区内の活動に参加したりと、積極的に活動を行いました。
- ・区高齢障害支援課と毎月定例カンファレンスを行い、個別課題を共有し協働した支援に努めています。細かい情報共有を行うことで虐待ケースの対応や権利擁護が必要なケースの早期対応ができています。
- ・支えあい連絡会の推進についてはチームメンバーでの事前検討を重ねる等、これまで以上に協働が進んでいます。その結果、「ちょっとした困りごとが住民同士で協力して解決できる仕組みづくり」として、生活支援を中心としたボランティアグループ立ち上げに向けた取組を始められました。
- ・27年度に発足した「第3地区元気づくり推進協議会」では、地区内における各団体や地域活動グループ・地域施設等が連携し「安心して安全で健康できれいな街づくり」を進めるために、「元気づくりコンサート」が開催されました。ケアプラザと区行政も実行委員会のメンバーとして、開催準備から協働を進めました。

## 2 地域活動交流事業

#### (1) 自主企画事業

- ・地域に出るきっかけや父親同士のネットワークづくり、ケアプラザの周知を目的に、区の地域子育て支援拠点「のんびりんこ」と共催で未就学児のいる父親向けに「こどもと育つパパ講座」を3回実施しました。（実施回数3回 参加者延べ総数87名）
- ・28年度に引き続き男性を対象にした健康麻雀クラブを毎月実施し、自主化に向けた支援を行った結果、平成30年度から施設利用の登録団体として活動することとなりました。
- ・障がいの理解啓発や障がい者と交流する場を提供することを目的に、障害のある児童対象の夏期余暇支援事業を実施（実施回数1回 参加者26名）したほか、障害のある成人対象の余暇支援事業として「クラブQ」を月1回行い（実施回数12回 参加者延人数107名）、野球観戦やボーリングといった外での活動も実施しました。
- ・各高齢者向けサロンでは、ボランティア主体の活動運営に向けた支援や、地域住民向けにサロンの周知を行いました。また、多世代交流を目的に幼稚園生や小学生にサロンを紹介した結果、日頃関わるのが少ない住民同士が交流できる場となりました。（実施回数 月2回×1サロン（※10月1月、台風、雪のため2回中止）、月1回×3サロン、総回数58回 参加者延べ総数 1156名）
- ・地区社協主催で毎月開催している子育てサロン（地区内3ヶ所）に対して、世代間

交流も交えながら気軽に集える場として機能するよう活動支援を行いました。昨年度より好評だった歯みがき講座や骨密度測定など区役所と連携した小イベントを実施し、参加者が集まるきっかけづくりを行いました。(実施回数 月1回×3か所 総回数 36回 参加者延べ総数 803名)

- ・地域で開催されているサロンや老人会などに職員が出向き、介護予防や体操などのテーマでミニ講座を実施することで、ケアプラザの周知や健康・介護予防に対する意識啓発を図りました。(延べ参加者数 144名)

## (2) 福祉保健活動団体等が活動する場の提供

- ・区分Ⅱの団体(料理・パステル画の団体・ひきこもりの高校生の居場所作り活動をしている団体等)のボランティア活動促進を目的に、地域活動やデイサービス、ケアプラザ自主事業等の活動の場の提供と紹介を行いました。その結果、手話サークルによる小学生対象の手話講座、料理団体による地域ふれあいまつりへの出店等、福祉保健活動に繋げることができました。
- ・地域ケアルームの稼働率をあげるべく、介護者や事業所従事者が使用できるように休憩場所として部屋を開放していますが、更に稼働率を向上させるため包括やケアマネなどに協力をあおぎ、クチコミや広報紙で利用の周知に努めました。
- ・施設利用の空き情報を窓口におき、常に利用できる時間がわかるようにしています。また利用申込書に案内図や避難経路を掲載し、より利用しやすい工夫と安全面での工夫に努めました。
- ・商店会と共催しているハロウィンイベントでは、ケアプラザを会場として開放し、活動の場の提供を行いました。

## (3) ボランティアの育成及びコーディネート

- ・障がい者への理解啓発と、障がいがあっても暮らしやすい地域づくりに向けて区内6 ケアプラザ及び区社協共催のボランティア入門講座「ボラたま」を実施し、参加者には障がい児余暇支援事業へ参加を促し、ボランティア活動の場を提供しました。
- ・区社協のボランティアセンターと連携し、ボランティアの希望を聞きながら高齢者向けサロンや、デイサービスでのボランティア活動につなげたほか、区社協の広報紙におけるケアプラザのボランティア募集周知を依頼するなど相互連携を図りました。また、ボランティアセンターが行った生活支援ボランティア講座に参加し、終了後結成されたボランティアグループに対するフォローアップや活動の場の提供等に協力しています。
- ・ボランティアのモチベーションを高めるためにシニアボランティアポイントの対象事業を追加登録したほか、担い手発掘のためDIY講座を実施するなど、様々な角度からボランティアの育成と活動の場の提供に努めました。
- ・平成30年2月にはボランティア交流会を実施し、ボランティアの活動内容紹介・デイサービス職員との交流を行いました。その結果、ボランティアが新たにデイサービスで活動を開始するなど交流会をきっかけとしたつながりが生まれました。
- ・学生に対しては、将来の担い手として意識付けをするために以下の取り組みを行いました。
  - ①中学生は職場体験だけでなく、地域ふれあいまつりでのボランティア等、地域活動へ参加する場を提供しました。また、小学生のデイサービス交流体験では、学校と事前に児童の目標を共有し、福祉を身近に感じてもらえるよう工夫しました。その際に施設利用団体にボランティアとして小学生に手話を教えてもらうことで、ボランティア活動を受け手側として体験する場となり、団体の活動紹介の場にもなりました。
  - ②地区内の中学生・教師の福祉に対する意識の向上、地域において何ができるのかを考えてもらうきっかけづくりを目的に、仲尾台中学校1年生(142名)に対し福祉教育を行いました。ケアプラザの役割や中学校周辺の地域の特徴、認知症についての講話を行い、ケアプラザの周知や高齢者・認知症の理解啓発に努めました。

#### (4) 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供

- ・第3地区内で行われている地区民生委員児童委員協議会（以下、民児協）、地区社協、老人会、自治会町内会の会合や事業に積極的に関わることによって活動の状況把握に努め、その内容は地区支援記録に記載し、5職種会議等で共有をしています。
- ・今年度は、これまでに集めた情報を可視化し、特徴や課題をまとめるため、地区全体のアセスメントシートだけでなく単位町内会自治会別アセスメントシートを作成しました。地域の活動をより分かりやすくまとめるため、掲載の許可をいただいている活動については地域活動情報誌「麦田あるある豆事典」にまとめ、活動の紹介をしています。（年1回更新）
- ・隔月で発行している広報紙「おおむぎこむぎ」（毎号1,000部 年6回）では、昨年度に引き続き『私の街はこんな町』を題材に町内会長のインタビューを実施しました。そのほか地域住民が主体で実施しているイベントの写真を多く掲載し、住民の興味を引く内容・紙面づくりを心掛けました。
- ・ケアプラザでの事業は区の広報紙やケアプラザの広報紙に掲載し、作成した広報紙やチラシは地域のサロンや食事会で配布しました。また、月ごとの行事カレンダーや広報紙はホームページにも掲載し、幅広い年代の目に留まるよう工夫しました。
- ・ケアプラザに来館される施設利用団体の方や地域の行事に参加されている地域住民の情報・ニーズ把握に努め、その情報をケアプラザ内だけでなく区役所、区社協に対してもチーム会議等で情報の共有をし、地域支援に活用しています。
- ・商店会と共催で実施したハロウィンイベントでは、子育て世代のケアプラザ利用率を向上させ、親同士のつながりが生まれるよう施設利用についてのチラシを目に留まる場所に置き、ケアプラザの役割周知に努めました。
- ・区民活動センターや区の施設と連携して実施したスタンプラリーでは、普段ケアプラザに来ることが少ない小学生以下の子どもや保護者などにケアプラザのチラシや広報紙を渡し、周知に努めました。
- ・通所介護職員と協働し、ボランティア同士につながりづくりやボランティアに関する情報提供を目的としたボランティア交流会を2月に実施しました。

### 3 生活支援体制整備事業

#### (1) 事業実施体制

- ・所内で行っている月1回の5職種ミーティングでは事業の進捗状況を確認し、内容検討を行いながら各職種の特性を生かして事業に取り組みました。また、所内の常勤職員会議でも進捗状況を報告するなど、5職種に留まらず施設全体で情報を共有し事業実施するよう努めました。
- ・包括とは日常的に地域情報を共有し、高齢者住宅相談員との意見交換会は主任ケアマネジャー（以下、主マネ）と生活C○が出席するなど、各事業において現状を伝えあいながら協働して取り組みました。また、ボランティアグループ立ち上げを検討した支えあい連絡会には毎回包括職員が出席し、包括の役割や相談内容の傾向を説明するなど、それぞれの職種が特徴を生かして事業に関わりました。
- ・チーム会議では、区役所・区社協と細かい情報共有を行い、主に支えあい連絡会でのボランティアグループ立ち上げ支援について検討を行いました。また、チームメンバー内で地域課題の共通認識を持つためにまち歩きを行ったほか、会議以外にも日常的な情報共有に努め、各職種から多面的な意見を出し合って協働で地域支援に取り組みました。
- ・また、チーム会議とは別に区社協と隔月で地域情報共有・支援方針検討のためミーティングを実施し、協力して事業展開を行いました。
- ・区域の生活C○連絡会では、チーム会議の取り組みや所内での連携方法を伝え、区域での情報共有を図りました。

## (2) 地域アセスメント（ニーズ・資源の把握・分析）

- ・ 地区アセスメントシートを他部門及び行政、区社協と更新し共有しました。
- ・ より小地域の現状と課題把握のために単位自治会町内会ごとのアセスメントシートを作成し、5職種で情報共有することで関わりの薄い町内に関して重点的に情報収集を行いました。
- ・ 包括に寄せられる生活支援に関する相談をまとめたことで、潜在化しているニーズを可視化することができ、その結果を支えあい連絡会にて情報提供した結果、ボランティアグループ立ち上げに向けた取り組みに繋がりました。
- ・ 地域アセスメントの結果を元に所内他部門と分担して高齢者住宅の相談員と情報交換を行ったり、これまで関わりの薄かった町内での介護予防講座実施（2～3月）を行ったりと職員が積極的に地域に出向くことで地域課題解決に向けて取り組みました。
- ・ 主マネが実施するケアマネサロンに参加し、参加したケアマネがインフォーマルサービスもふまえたケアマネジメントに生かすことや、生活C○の役割を伝えることを目的に、アセスメントシート等の地域情報を発信しました。逆に、ケアマネからの情報を掴むことで、細かな地域情報の把握に努めました。

## (3) 連携・協議の場

- ・ 支えあい連絡会を協議体として実施し、以前から支えあい連絡会の会長が希望していたボランティアグループ立ち上げについて年度を通して検討してきました（4回実施）。立ち上げに向けて少しずつ具体化していきいているため、来年度以降も区役所や区社協と協働しながら継続支援を行います。
- ・ 麦田町では、6月に第1回目となる細分化した生活圏域で防災訓練を実施し、3月には2回目を行いました。防災委員会に毎月出席している中で、これまで行ってきた地域アセスメントの結果をもとに、高齢化率が地区の中でも高い麦田町の現状や、他町内会等で行われているサロンなどの状況を少しずつ伝えていきました。その結果、麦田町でも高齢者が集まるサロンが必要との声が上がったため、30年4月から月に1度サロンを行うこととなり、開始に向けて支援しています。
- ・ 麦田町発展会のハロウィンイベントに実施協力するなど連携して事業実施を行っていく中で、町内の見守り強化のため認知症サポーター養成講座を行いたいと声上がり、3月に講座を実施しました。

## (4) より広域の地域課題の解決に向けた取組

- ・ 1層生活支援コーディネーター及び2層生活C○とそれぞれのエリアの課題を共有し、連合エリアを超えた課題については協力して検討を行いました。また、生活C○の周知を目的に区域でチラシを作成し、ハローよこはま等で配布しました。
- ・ 主マネが主催しているケアマネサロンに出席し、ケアマネジャーが感じている生活支援に関わる課題を把握するよう努め、逆にケアプラザが把握している地域の課題やニーズを伝えました。
- ・ 区社協主催の生活支援ボランティア講座に出席し、講座終了後もフォローアップの為の集まりに参加しています。その中でケアプラザに寄せられる相談やボランティアが活動出来そうな場所の情報提供を行うなど、区社協と役割分担しながらボランティア支援に取り組んでいます。
- ・ 生活支援の仕組みづくりについて区域の課題として捉え、支えあい連絡会でのボランティアグループ立ち上げについて、区域の連絡会等で情報提供しています。

## 4 地域包括支援センター運営事業

### (1) 総合相談支援業務

#### ① 地域におけるネットワークの構築

- ・地域で行われている食事会やサロン、季節イベントなどの他、町内会会議や商店会会議などにも参加し、顔の見える関係作りを広げると共に、ケアプラザ・包括の周知を図ることで、様々な相談が寄せられるようになりました。
- ・各町内の地域特性や総合相談、地域活動参加時の情報などを地域支援記録として蓄積し、町内会別の地域アセスメントシートを作成しました。  
また、分析結果を地域ケア会議や地域の食事会・サロンなどの場で、地域住民と共有し、地域の現状理解の促進と、“わが事”として考えられる意識の醸成に向けた働きかけをしています。
- ・今年度選定した、支援強化地域への取組みとして、麦田町では、町内防災委員会と協力してミニ防災訓練を実施（6月・3月）。防災をキーワードに地域の見守りや支えあいネットワークづくりをすすめました。さらに高齢者住宅相談員との関係強化から集合住宅住民と町内・近隣住民をつなげるためサロンの立ち上げに向けた準備をすすめました。豆口台上町・西之谷町では、住民アンケート、住民支えあいマップ作りを目指し、町内会役員会等と新しい関係づくりをすすめています。
- ・ケアマネジャー同士の横のつながりづくりの一環として、ケアマネサロンを区内 6 包括主任介護支援専門員分科会で共催実施し、ケアマネ視点の区内インフォーマルサービスマップ作成や事例検討会を行いました。
- ・地域のボランティアがお互いの活動を知り関係づくりを進めるために、通所介護部門などケアプラザ全体で協力したボランティア団体交流会を2月に開催しました。

#### ② 実態把握

- ・各町内の地域特性や総合相談、地域活動参加時の情報などを地域支援記録として蓄積し、町内会別の地域アセスメントシートを作成しました。また、エリア内に4棟ある高齢者住宅相談員との関係作りをすすめたことにより、見えにくかった集合住宅における情報が集まるようになりました。
- ・各町内会等との関わりの中で相談や各種情報が集まるような関係性を保ち、集めた情報を地交C○や生活C○等と共有し、実態把握や地域支援に活かしています。
- ・「かいごのWa！なかケアマネ部会」、研修会、ケアマネサロンなどを通じて、ケアマネジャーとの連携強化に努め、ケアマネ視点のインフォーマルサービスマップの作成を行いました。
- ・実態把握した情報や分析結果は包括レベル地域ケア会議、支えあい連絡会、地域のサロン、福祉教育など様々な場面で住民と共有し地域の現状理解の促進や“わが事”として考えられる意識の醸成に向けた働きかけをしています。
- ・麦田町では、昨年度おこなった住民情報マップ作成の過程で見えてきた課題解決に向けて、高齢者住宅相談員との連携強化と高齢者向けサロン立上げに向けての取組みを始めました。

#### ③ 総合相談支援

- ・地域の活動に参加した際に、包括職員の顔写真入りの紹介カードを配布し、ケアプラザが顔の見える相談しやすい場所として定着するように努めました。
- ・食事会や地域のサロンに出席した際に地域活動の担い手や参加者から地域住民の困りごとを収集し、相談者の情報共有をするなど地域と連携した支援を行いました。
- ・個別の相談に対応する際には住民の目線に立って支援を行うよう心がけました。
- ・多問題ケースについては、包括3職種で定期的に会議を行う事でフォローが必要な

ケースについて情報共有し、区とも迅速に情報を共有することでタイムリーに対応できています。また、施設内のケアマネとの定例会議の場では、ケアマネが抱える多問題ケースについて情報を共有し、包括や生活C○を交えて多様な視点から支援方針を検討しました。

- ・区生活支援課や基幹相談支援センター職員との意見交換会を開催し、連携機関としてお互いの業務の理解や顔の見える関係づくりに努めました。また、適切な支援に繋げるために家計相談など他機関の相談に当事者と同行しました。
  - ・個別相談を分析し、地域の課題をとらえて支えあい連絡会で情報提供したことで、ボランティアグループの立上げに向けた取り組みが行われています。
- 相談：1536件、 訪問：111件（3月末現在）

## （２）権利擁護業務

### ① 成年後見制度の活用促進・消費者被害の防止

- ・民生委員や他機関からの情報を把握し、迅速に区と対応を協議することで、成年後見制度利用の支援を行いました。（成年後見関係の相談延べ20件）また、区長申し立ての必要なケースは適宜、区に情報を上げることで対応しました。（区長申し立て3件）
- ・地域住民の方を対象に町内会と共催して権利擁護講座を2回開催しました。元気なうちから備える事の大切さを理解してもらうために、相続に関する身近な事例を通して講座を実施しました。
- ・地域活動に出席する際、消費生活センターからの情報や権利擁護に関する情報の中からより住民に関心のある情報を伝えて、消費者被害防止の為の啓発を行いました。
- ・今年度は、消費者被害に関する相談を5件対応しました。また、警察から依頼を受け、ケアプラザのサロン参加者に向けて消費者被害や振り込み詐欺等に関する情報提供やアンケートを実施するなど、警察との連携に努めました。
- ・成年後見制度の理解を深め適切な支援を実施するため、成年後見制度の研修会に参加し、制度を理解するよう努めました。

### ② 高齢者虐待への対応

- ・虐待が疑われるケースは、区役所や民生委員等と情報収集・実態把握に努め、状況に応じて迅速な自宅訪問などの適切な支援に繋がりました。（虐待関係相談延べ30件）
- ・区と定期的なカンファレンスを開催することで、虐待ケースの支援状況を確認し、各職種の特性を生かした切れ目のない支援を継続しました。
- ・ケアマネやサービス事業者などから寄せられる虐待ケースの相談に関しては、関係者とカンファレンスを行うことで、今後の支援の方向性や役割分担を明確にして支援しました。また、被虐待者の保護や養護者へのアプローチも関係者と協力して行いました。
- ・高齢者虐待の防止を目的の一つとして介護者のつどいを開催し、未然防止に努めました。また、地域行事に参加した際には包括カードを配布して、相談できる場所の周知を行いました。

### ③ 認知症

- ・地域の老人会やサロン活動などに参加し、認知症と予防法についての出張講座を行いました。（9回実施）  
3Aプログラムやコグニサイズの講師を派遣し、また、包括職員自身でも実施しました。（1回実施）
- ・脳トレリーダー養成講座には担い手になり得る地域住民の参加を推薦し、実習できる機会や場を提供しました。（4回実施）
- ・認知症の方を介護している方々を対象に介護者の集いを開催し、介護者同士の交流



と情報交換の場を設けました。(1回実施)

- ・中学校などの教育施設に出向き、福祉教育として認知症についての講義を行い、認知症支援の理解と普及啓発を行いました。(1回実施)
- ・近隣の商店会を対象に認知症に対する正しい知識と理解の普及啓発を目的に認知症サポーター養成講座を開催しました。(1回実施)
- ・地域の食事会やサロンに参加し、開催支援をしている民生委員や介護サービス事業者と連携して認知症の早期発見、情報共有、適宜対応を行っています。
- ・エリア内で行われているコミュニティーカフェ(認知症カフェ)の活動、運営支援を行いました。立上げから3年、参加者、担い手ともに増え、安定して活動継続できています。

### (3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

#### ① 地域住民、関係機関等との連携推進支援

- ・区内6包括主マネ分科会協働で毎月ケアマネサロンを実施し、ケアマネ視点での社会資源マップを作成しました。介護保険サービス以外の様々な社会資源情報にもケアマネジャーの興味、視点が向く切掛けとなりました。
- ・ケアマネがもつ様々な情報を生活支援体制整備事業に活かしていく事と、ケアマネジメントの向上を目指し、ケアマネサロンにて、生活支援コーディネーターの協力を得ながら、生活支援体制整備事業・地域アセスメントの状況説明、情報交換を行いました。
- ・障害制度、介護保険制度併用ケースを取り上げた個別レベル地域ケア会議を実施し、両制度の関係機関の連携促進をすすめました。
- ・広報紙や出前講座、さらには食事会サロン等への参加などの機会を通じて、介護保険制度の理解や介護予防、権利擁護などの情報を積極的に発信しました。また、地域アセスメントの結果などを「お互いを理解しあえるまち」を目指した普及・啓発活動に生かしています。
- ・地域のインフォーマルサービスなどをまとめた“麦田あるある豆辞典”を毎年更新し、区内新任ケアマネへ配布、インフォーマルサービス情報の提供を行いました。

#### ② 医療・介護の連携推進支援

- ・個別支援の過程で、積極的に医療機関に出向き、相談室医療ソーシャルワーカー(MSW)や医師、看護師との関係作りをおこなうことで、入退院時のカンファレンス以外に受診等の相談など日頃からの気軽に相談できる関係づくりが進んでいます。
- ・中区在宅医療相談室における多職種連携会議・事例検討会、勉強会に参加し、普段顔を合わせることの少ない医師や薬剤師などとの関係づくりと医療・介護の連携における課題検討などをすすめています。
- ・中区医療相談室との連携として、市民向け在宅医療講演会「住み慣れた家で最期を迎えるためには」にパネリストとして協力し、在宅看取りを行った事例を取り上げ、市民へ医療と介護の連携推進の取組みを周知する良い機会となりました。
- ・区内医療機関とケアマネ支援やケースカンファレンスを通して情報交換や連携の方法についての情報共有をしています。

#### ③ ケアマネジャー支援

- ・区役所と区内6包括の主マネと看護職が協力し、居宅支援事業所のケアマネを対象に介護予防・介護予防ケアマネジメント従事者研修会を開催しました。(12月)
- ・個別相談件数346件、サービス担当者会議支援件数67件と、ケアマネジャー支援を積極的に行いました。
- ・区内6包括、「かいごのWa!なかケアマネ部会」と協働で、研修を12回実施しま

した。

- ・区内 6 包括、区高齢障害支援課、区内の居宅介護支援事業所主任介護支援専門員と協力し、新人・就労予定ケアマネ実習を開催しました。居宅介護支援事業所の主任介護支援専門員にも講師役やファシリテーターを担ってもらうことで、区内の主任介護支援専門員のスキルアップと資格更新の機会を提供しました。(8月から11月の期間で計4回)
- ・区内 6 包括と合同で「かいごのWa! なかケアマネ部会」へ輪番で参加し、ケアマネの置かれている現状やニーズ把握を行いました。
- ・「かいごのWa! なかケアマネ部会」が自主的に実施する研修等企画立案の支援ならびに参加者増に向けた相談支援を行いました。
- ・昨年度行ってきたケアマネサロンを区内 6 包括主マネ分科会の事業として輪番で毎月実施。ケアマネ視点の区内社会資源マップの作成や、生活C○等の協力を得ながら、ケアプラザが実施した地域アセスメントについて説明、地域情報や社会資源、生活支援ニーズについて、意見交換を実施しました。ケアマネサロンの特徴を活かした活発な意見交換やきめ細やかなケアマネ支援を今後も継続していきます。
- ・ケアマネから支援困難や虐待等の相談を受けた際は、同行訪問やカンファレンス開催などを実施し、ケアマネの負担感や孤立を軽減できるよう意識して支援しました。

#### (4) 多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

##### 多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

- ・多様な社会資源が有機的に連携できる環境の整備やネットワーク構築を目指し、個別ケース地域ケア会議を1回、包括レベル地域ケア会議を1回開催しました。
- ・6月に行った個別レベルケア会議は、当事者家族(3名)とケアマネジャー、言語聴覚士、中区障害者地域活動ホーム、中途障害者地域活動センター、高齢障害担当、障害担当などが参加、多職種がそれぞれの専門的視点から検討し、個別課題の解決につなげました。
- ・9月に行った包括レベル地域ケア会議は、総合相談から得られた情報を整理した資料をもとに、第三地区の支えあい連絡会メンバーと地域課題を検討しました。課題解決に向けた具体的取組みとして、ボランティアグループづくりをすすめていくことになりました。
- ・地域ケア会議・退院支援・カンファレンス参加などを通じて、中区医療相談室・病院相談室などとの連携を図り、医療機関、介護保険サービス事業者等との連携促進を図りました。
- ・中区における地域包括ケアシステム構築につなげるよう、区内 6 包括間で、地域ケア会議の取り組み状況等の共有を図りました。

#### (5) 介護予防ケアマネジメント(指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業)

##### 介護予防ケアマネジメント(指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業)

- ・新任の包括職員に対し、職場内のOJTを通して事例の共有を行い、専門職員としてのスキルアップを図りました。
- ・所内のケアマネと予防プランナー・包括職員の会議を毎月開催し、介護保険サービス以外のインフォーマルサービスや権利擁護事業につなぐことなど、予防を意識した関わりについて、事例検討や意見交換を実施しました。
- ・委託先のケアマネに対して、可能な限りサービス担当者会議に参加し、介護予防の視点を持ったケアマネジメントや予防プランの作成についてアドバイスをを行いました。
- ・区内 6 包括と区とが協力し、居宅介護支援事業所向けに介護予防・介護予防マネジメント従事者研修を12月に開催し、ICFの理念に基づいた自立支援について理解を深めるよう努めました。
- ・生活C○と協力し、エリア内のボランティア団体、介護予防に資する活動団体を把

握し、介護予防ケアマネジメントの中で活用しています。

- ・ケアマネに対し、相談内容に応じた地域の健康づくり、介護予防活動を行っている団体の情報を提供しています。

## (6) 一般介護予防事業

### 一般介護予防事業

- ・各町内会で主催されているサロン事業や食事会に出向き介護予防事業の一環として、骨粗鬆症やロコモティブシンドロームの予防に関する内容を取り入れた講話や体操を実施しました。(13回実施)
- ・西之谷町の元気づくりステーションにおいて、地区担当保健師と月交替で参加し、自主活動支援を行いました。(6回)
- ・介護予防講座として、ロコモ予防を目的とし、「ステップアップ健康講座」4日間コースを、前期は清風荘を会場にして開催いたしました。  
(参加人数：参加者延べ人数＝39名)
- ・後期は地域の自治会館を会場に開催いたしました。(2月2回、3月2回の全4日間)  
(参加人数：参加者延べ人数＝39名)
- ・前期高齢者の趣味と健康づくりを目的とした「スポーツ吹矢」の自主化を支援しました。参加者も増え、体験・見学も受け付けるなど、地域に開かれた活動として定着しています。
- ・ボランティアスキルアップ講座として区役所主催の「脳トレリーダー養成講座」開催に他の包括看護職と共に協力しました。また地域で活動されている方の参加を推薦し実習の機会を提供しました。(4ヶ所)

## 5 その他

--

以下、地域ケアプラザ事業実施評価との相違部分

## 7 施設の適正な管理について

### (1) 施設の維持管理について

- ・設備等の故障によりケアプラザを利用される方に不便をかけることがないように、職員による日常点検及び専門業者による定期巡回点検を月1回実施し、設備の維持管理に努めました。また、点検により把握した不良箇所についての改善を行いました。
- ・安心・安全に利用していただけるよう専門業者に日常清掃および定期清掃を委託し、施設の清潔を保つよう努めました。
- ・経年劣化や急な故障等に伴う修繕箇所について区役所と協議を行いながら適切に対処を行いました。(29年度修繕費合計金額 ¥1,338,368.-)

### (2) 効率的な運営への取組について

- ・地域ケアプラザの役割を果たせるよう、各部門の横断的な連携を密にとり、地域課題の共有化を図ると同時に、地域の関係機関・団体との役割分担や協働を図り事業に取り組んでいます。
- ・限られた予算の中で適正な運営を行うため、職員一人ひとりが意識し、経費の削減、資源の有効活用を心掛けました。複数の指定管理施設を受託している利点を活かし、建物・設備保守管理業務契約等の一括入札が可能な契約を集約し、効率的な運営費の執行に努めました。また、物品購入等についても一括入札により経費を抑えるよう努めました。
- ・ヨコハマ3R夢に基づくゴミの少量化、資源の有効活用、環境への配慮を行いました。
- ・効率の良い業務遂行のために、ワークライフバランスを推進し、定時帰宅日(かえるday)を設定し、計画的に業務を進める取組を実施しました。

### (3) 苦情受付体制について

法人の「苦情解決規則」及び「苦情解決規則に基づく苦情相談対応マニュアル」に沿って、苦情受付の体制を整えています。受付担当者→実務責任者(所長)→所管部長→苦情解決推進チーム→総括責任者という流れにより苦情の解決にあたり、受け付けた苦情については、法人全体で情報を共有しました。

苦情解決調整委員(第三者委員)として、法律・福祉・人権の各分野の方に依頼し、上記仕組みの中で対応が困難な場合に苦情解決に係わる助言をいただきながら、円滑な解決とサービス改善の取組につなげました。また、法人全体の取組として「ご意見箱」を設置し、苦情だけではなく、様々なご意見・ご要望をいただける体制を整えています。

苦情やご意見・ご要望については、利用者の方からの貴重な意見として真摯に受け止め、職員で共有しサービス向上につなげていきます。さらに、法人内の他施設の苦情等についても所長会等で共有し、法人全体で業務改善につなげていく取組を行っています。

### (4) 緊急時(防犯・防災・その他)の体制及び対応について

- ・施設内、法人内、併設施設並びに行政との連絡体制を整え、緊急時の対応に備えると同時に、施設内事故・車両事故対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症予防マニュアル等は毎年見直しを行い、万が一の事故発生に備えています。また、災害時に管理職及び法人本部と連絡が取れるよう、災害用PHSを整備しています。

- ・災害時福祉避難場所としての役割を認識し、災害時の備蓄物資を適正に保管しています。また、災害発生時に備え、職員の参集訓練を実施しました。
- ・火災・地震等の災害を想定した避難訓練を、適正（2回以上）に実施することで、緊急時に対応できる組織体制の維持に努めました。また、施設の一部が土砂災害警戒区域内に位置することから、土砂災害を想定した訓練も実施しました。地域の消防署の協力により、職員へのAED訓練も同時に行いました。
- ・地域防災拠点会議に定例参加するとともに、地域の防災訓練にも積極的に参加し、日常的に協力関係を築き非常時に備えました。

#### (5) 事故防止への取組について

- ・施設の事故報告を集計分析し、法人内の館長・所長会で毎月報告を行うと共に、法人全体としても共有化を図りました。施設においても職員会議等を利用して事故の分析、再発防止に向けた取り組みについての検討を行いました。
- ・事故につながる可能性があるヒヤリハット事例の分析・評価と予防策の構築を継続して行いました。特に職場内にてヒヤリハットの共通認識ができる機会として、休憩室への掲示やミーティングを活用し互いに注意し合える工夫を行いました。
- ・事業実施にあたり事故予防に努め、万が一事故が起きてしまった場合に速やかに対応ができるよう、事故対応マニュアルの整備・更新を行いました。
- ・館内に手指用の消毒液を設置して、来館者の衛生や感染症予防に配慮しました。また、感染症予防研修参加者による伝達研修を実施し、感染症予防に努めました。

#### (6) 個人情報保護の体制及び取組について

本会は個人情報の保護について「保有する個人情報の保護に関する規程」を定めており、各業務は当該規程により運営されています。また、特に地域ケアプラザでは「地域ケアプラザ等における個人情報の取扱基準」により具体的な作業方法が示されており、これら諸規程に基づいて対応しました。

- ・職員全体研修にて個人情報の取り扱いについて研修後、適切な対応を取る旨を約束する誓約書を全職員と交わしました。
- ・ケースファイル等個人情報が含まれる書類の取り扱いについて、持ち出しの際と戻す際に職員同士で確認しています。
- ・個人情報の書類はFAX送信を原則禁止しています。
- ・施設内で知り得た情報の守秘義務についてボランティア・実習生にも説明しています。
- ・法人の取組については、本会ホームページに掲載し、各施設においては「個人情報取扱業務概要説明書」を窓口に整備しています。

#### (7) 情報公開への取組について

- ・法人の「社会福祉法人横浜市社会福祉協議会の保有する情報の公開に関する規程」に基づき情報の公開を行っています。なお、平成29年度の開示請求はありませんでした。
- ・窓口に閲覧用の決算書、個人情報取扱業務概要説明書、その他情報公開用資料を設置し、施設概要、サービス内容等広報資料を見やすく、わかりやすく、常に最新の情報を提供するよう努めました。また、法人ホームページにおいて予算・決算、事業内容等を公表しています。
- ・通所介護部門と指定管理部門において、それぞれ広報紙を発行し、施設情報の周知に努めました。

(8) 人権啓発への取組について

- ・人権およびプライバシーへの配慮についての意識醸成に向けて、第1回職員全体会議において研修を実施しました。また、中途採用の職員に対しても、入職時に研修を行いました。
- ・人権問題について、社会福祉従事者として、自らの人権感覚を磨くために、様々な観点から理解を深める事を目的に、職員の代表が研修に参加し、受講後に参加していない職員へ伝達することで、職員全体の意識向上に取り組みました。

(9) 環境等への配慮及び取組について

地域の身近な拠点として、安心・安全に施設をご利用いただけるように、次の点を行いました。

- ・「ヨコハマ3R夢」に基づくごみの少量化・再資源化への取り組みを継続しました。業務で使用するコピー用紙についても、リサイクルペーパーなどエコ商品を積極的に購入しています。
- ・未使用の部屋の消灯や節水等に全職員で取り組みました。夏期はクールビズ運動を法人全体で実施し(5/1~10/31)、室内温度を28度に設定し軽装にて執務を行い、使用していない事務用機器の電源をこまめにオフにする等を実施しました。(但し、利用者の身体状況等により適切な温度の設定をおこないません)
- ・インフルエンザの感染予防の取組として弱酸性次亜塩素酸水を用いてウィルス対策を行いました。また、デイサービスのご利用者の皆様には来所の際、手指消毒へのご協力を得て実施しています。
- ・職員全体で定期的に会議を設け、環境への取り組みを継続して行いました。

【介護保険事業】

●指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業

《職員体制》

主任ケアマネジャー 1名 (常勤兼務/介護予防支援事業管理者)  
 保健師 1名 (常勤兼務)  
 社会福祉士 1名 (常勤兼務)  
 介護支援専門員 1名 (非常勤)

《目標に対する成果等》

- ・要支援1・2と認定された地域の高齢者に対し、本人ができることはできる限り行なうことを基本とし、また、利用者の主体性を尊重し、家族や地域の方との繋がりを大切に、自立した生活が維持できるよう支援しました。
- ・委託契約を結んでいる居宅支援事業所との連携及び支援を行いました。
- ・介護予防・日常生活支援総合事業に移行する利用者への支援を行いました。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

介護保険料を滞納されている場合等を除き実費負担はありません。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ①利用者本位のサービスに取り組みました。
- ②ご自身らしく生活できるよう十分に相談しながら計画作成に努めました。
- ③支援システムを活用し、事務作業を効率化に努めました。

《利用者実績》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
130	133	140	132	128	131
10月	11月	12月	1月	2月	3月
136	135	141	136	138	147

●居宅介護支援事業

《職員体制》

管理者 1名（常勤）  
 介護支援専門員 4名  
 （兼務1名含む常勤1名、非常勤3名）

《目標に対する成果等》

- ・可能な限り住み慣れた地域で自立した日常生活(要介護状態の予防・軽減及び悪化防止等)が営んでいかれるように、利用者の意思を尊重しながら心身の状況や環境に配慮した居宅サービス計画の作成を行い支援しました。
- ・担当ケースの目標プラン数は120件を設定し、地域包括支援センターと密に連携を図りながら地域ケアプラザであるからこそ出来る個別支援の特性を生かし新規ケースに対しても積極的な受け入れ対応に努めました。
- ・地域包括支援センターとの連携を図る中で、地域の社会資源についての情報を広く収集し介護ネットワークの構築に努めました。
- ・認定調査受託件数は制度改正や状況変化等を考慮して年間150件としています。支援に結び付いていない更新申請のケースについても地域包括支援センターと連携を取りながら可能な範囲で対応できるように努めました。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

- 介護保険料を滞納されている場合等を除き、実費負担はありません。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

- ・地域活動交流や地域包括支援センターからリアルタイムでの地域情報を収集出来る環境である事を生かした支援を行いました。
- ・通所介護サービスとの密な連携を図りながら、生活状況や体調の変化等について早期発見が出来る体制を生かした支援を行いました。

《利用者実績》

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
88	90	94	97	94	102
10月	11月	12月	1月	2月	3月
99	97	108	102	102	106



● 通所介護

《提供するサービス内容》

通所介護計画に沿って、次のサービスを提供しました。

- (1) 生活指導（相談援助等）
- (2) 体操等による機能訓練
- (3) 介護サービス
- (4) 健康状態の確認
- (5) 送迎
- (6) 給食
- (7) 入浴

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

● 1割負担分（利用1回あたり）

・基本額

(要介護1)	614円
(要介護2)	725円
(要介護3)	837円
(要介護4)	948円
(要介護5)	1,060円

・加算額

(入浴加算)	54円
(中重度者ケア体制加算)	49円
(介護職員処遇改善加算)	
所定単位数に1000分の59を乗じた単位数を加算します。	
(サービス提供体制加算Ⅱ)	7円

● 食費負担 750円

● 通常のレクリエーション以外に行う特別な行事 実費

《事業実施日数》 週7日(年末年始12/29～1/3を除き359日)

《提供時間》 10:15～15:20

《職員体制》

管理者1名（常勤）	生活相談員3名（常勤）
看護師兼機能訓練指導員5名（非常勤）	介護職員19名（非常勤）
運転員7名（非常勤）	

《目標に対する成果等》

- ・ 介護保険法を遵守し、利用者一人ひとりの個別性を大切にし、生き生きと健やかに過ごせるプログラムをもとに通所介護計画を作成し、当該計画に沿って通所介護を提供しました。
- ・ 自立支援に向けた取り組みとして、やりたいこと・過ごしたい場所を選択して移動できるようデイルームフロアのレイアウトを変更しました。
- ・ 職員個々のアセスメント能力の向上と利用者情報の密な共有を図りました。
- ・ 事故の防止に向けた職員一人ひとりの意識醸成に一層取り組みました。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

横浜市社会福祉協議会の理念「誰もが安心して自分らしく暮らせる地域社会をみんなで作ります」に基づき、「利用者本位(家族含め)の、来てよかった、また来たいデイサービス」を継続して目指しました。

《利用者実績（延べ人数）》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
761	788	762	799	790	741
10月	11月	12月	1月	2月	3月
780	752	716	632	663	721

● 介護予防通所介護・第1号通所事業

《提供するサービス内容》

通所介護計画に沿って、次のサービスを提供しました。

- (1) 生活指導（相談援助等） (2) 体操等による機能訓練  
 (3) 介護予防サービス (4) 健康状態の確認 (5) 送迎  
 (6) 給食 (7) 入浴

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

- 1割負担分（1か月） ・ 加算額  
 (要支援1) 1,766円 (運動器機能向上訓練) 242円  
 (要支援2・週2回) 3,621円 (介護職員処遇改善加算)  
 (要支援2・週1回) 1,766円 所定単位数に1000分の59を  
 乗じた単位数を加算します。  
 (サービス提供体制加算Ⅱ) 要支援1 26円  
 要支援2 52円
- 食費負担 750円
- 通常のレクリエーション以外に行う特別な行事 実費

《事業実施日数》 週7日（年末年始12/29～1/3を除き359日）

《提供時間》 10:15～15:20

《職員体制》

- 管理者1名（常勤） 生活相談員3名（常勤）  
 看護師5名兼機能訓練指導員（非常勤） 介護職員19名（非常勤）  
 運転員7名（非常勤）

《目標に対する成果等》

- ・ 介護保険法を遵守し、利用者一人ひとりの個別性を大切にし、生き生きと健やかに過ごせるプログラムをもとに通所介護計画を作成し、当該計画に沿って通所介護を提供しました。
- ・ 自立支援に向けた取り組みとして、やりたいこと・過ごしたい場所を選択して移動できるようデイルームフロアのレイアウトを変更しました。
- ・ 職員個々のアセスメント能力の向上と利用者情報の密な共有を図りました。
- ・ 事故の防止に向けた職員一人ひとりの意識醸成に一層取り組みました。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

横浜市社会福祉協議会の理念「誰もが安心して自分らしく暮らせる地域社会をみんなで作ります」に基づき、「利用者本位(家族含め)の、来てよかった、また来たいデイサービス」を継続して目指します。

《利用者実績（契約者数）》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
19	19	20	20	19	20
10月	11月	12月	1月	2月	3月
22	22	22	21	23	24

平成29年度「麦田地域ケアプラザ」  
収支予算書及び報告書(一般会計)〈地域活動〉

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	17,034,432	147,434	17,181,866	17,181,866	0	横浜市より
利用料金収入			0	0	0	
指定管理料充当 事業	0		0	87,550	87,550	
自主事業収入			0	0	0	この列は入力しない
雑入	0	0	0	4,894	4,894	
印刷代	0		0	4,524	4,524	
自動販売機手数料	0		0	0	0	
駐車場利用料金収入	0		0	0	0	
その他(指定管理料充当)	0		0	370	370	
その他(施設使用料相当額 法人負担分)	3,587,500		3,587,500	3,587,500	0	
その他(提案時控除 法人負担分)	1,436,000		1,436,000	1,436,000	0	
収入合計	22,057,932	147,434	22,205,366	22,297,810	92,444	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	11,262,000	0	11,262,000	8,582,133	2,679,867	
本俸	7,830,000		7,830,000	6,600,448	1,229,552	
社会保険料	1,253,000		1,253,000	618,664	634,336	
手当計	568,000		568,000	1,274,794	706,794	
健康診断費	4,250		4,250	7,808	3,558	
勤労者福祉共済掛金	6,750		6,750	6,750	0	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	916,000		916,000	73,669	842,331	
その他	684,000		684,000	0	684,000	
事務費	1,306,000	0	1,306,000	1,550,279	244,279	
旅費	19,000		19,000	11,300	7,700	
消耗品費	300,000		300,000	136,827	163,173	
会議賄い費	0		0	0	0	
印刷製本費	55,000		55,000	151,350	96,350	
通信費	200,000		200,000	147,998	52,002	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
横浜市への支払分	0		0	0	0	
その他	0		0	0	0	
備品購入費	164,000		164,000	70,027	93,973	
図書購入費	0		0	0	0	
施設賠償責任保険	52,500		52,500	0	52,500	
職員等研修費	10,000		10,000	4,181	5,819	
振込手数料	1,000		1,000	0	1,000	
リース料	67,000		67,000	13,866	53,134	
手数料	0		0	2,048	2,048	
地域協力費	0		0	0	0	
その他	437,500		437,500	1,012,682	575,182	
事業費	332,000	0	332,000	163,653	168,347	
運営協議会経費	42,000		42,000	9,752	32,248	予算：指定額
指定管理料充当 事業	290,000		290,000	153,901	136,099	
管理費	8,256,972	259,496	2,718,496	6,116,770	24,095	
建築物・建築設備点検	0		0	0	0	予算：指定額
光熱水費	0	0	0	3,374,179	0	
電気料金			0		0	
ガス料金			0		0	内訳が一致していません
水道料金			0		0	
清掃費	985,000		985,000	893,844	91,156	
修繕費	474,000	259,496	733,496	621,434	112,062	予算：指定額
機械警備費	145,059		145,059	145,059	0	
設備保全費	854,941	0	854,941	849,185	5,756	
空調衛生設備保守	410,000		410,000	406,124	3,876	
消防設備保守	19,351		19,351	19,352	1	
電気設備保守	45,869		45,869	36,695	9,174	
害虫駆除清掃保守	25,802		25,802	25,802	0	
駐車場設備保全費	0		0	14,334	14,334	
その他保全費	353,919		353,919	346,878	7,041	
共益費	0		0	0	0	
その他	0		0	233,069	233,069	
公租公課	900,960	0	900,960	686,570	214,390	
事業所税			0		0	この列は入力しない
消費税	900,960		900,960	686,570	214,390	
印紙税			0		0	この列は入力しない
その他( )			0		0	この列は入力しない
事務経費(計算根拠を説明欄に記載)	0	0	0	0	0	この列は入力しない
本部分			0		0	この列は入力しない
当該施設分			0		0	この列は入力しない
二一ス対応費			0		0	この列は入力しない
支出合計	22,057,932	259,496	16,519,456	17,099,405	2,794,230	
差引	0	112,062	5,685,910	5,198,405	2,886,674	

自主事業費収入	290,000		290,000	0	290,000	予算：指定管理料に含む
自主事業費支出	290,000		290,000	153,901	136,099	
自主事業収支	0	0	0	153,901	153,901	⇒自主事業(指定管理料充当の自主事業)費

管理許可・目的外使用許可収入	0		0	0	0	駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人収入
管理許可・目的外使用許可支出	0		0	14,334	14,334	使用料(横浜市への支払等)・駐車場設備保全費
管理許可・目的外使用許可収支	0		0	14,334	14,334	

平成29年度「麦田地域ケアプラザ」  
収支予算書及び報告書(特別会計)<包括・介護予防・生活支援体制整備>

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料(包括)	23,947,000	153,696	23,793,304	23,793,304	0	横浜市より
指定管理料(介護予防)	151,000		151,000	151,000	0	横浜市より
指定管理料(生活支援)	5,789,000	1,020,674	4,768,326	4,768,326	0	横浜市より
利用料金収入			0		0	この列は入力しない
指定管理料充当事業(包括)	0		0	0	0	
指定管理料充当事業(介護予防)	0		0	0	0	
指定管理料充当事業(生活支援)	0		0	10,000	10,000	
自主事業収入			0		0	この列は入力しない
雑入	0	0	0	5,310	5,310	
印刷代	0		0	0	0	
自動販売機手数料	0		0	0	0	
駐車場利用料金収入	0		0	0	0	
その他(指定管理充当分)	0		0	5,310	5,310	
その他(提案時控除 法人負担分)	1,805,000		1,805,000	1,805,000	0	
<b>収入合計</b>	<b>31,692,000</b>	<b>1,174,370</b>	<b>30,517,630</b>	<b>30,532,940</b>	<b>15,310</b>	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
<b>人件費</b>	<b>27,209,000</b>	<b>0</b>	<b>27,209,000</b>	<b>22,280,342</b>	<b>4,928,658</b>	
本俸	17,604,000		17,604,000	12,690,600	4,913,400	
社会保険料	3,463,000		3,463,000	2,783,831	679,169	
手当計	3,502,000		3,502,000	6,116,818	2,614,818	
健康診断費	50,000		50,000	29,937	20,063	
勤労者福祉共済掛金	24,000		24,000	26,250	2,250	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	2,566,000		2,566,000	632,906	1,933,094	
その他	0		0	0	0	
<b>事務費</b>	<b>1,072,000</b>	<b>0</b>	<b>1,072,000</b>	<b>1,457,808</b>	<b>385,808</b>	
旅費	80,000		80,000	9,141	70,859	
消耗品費	300,000		300,000	172,530	127,470	
会議賄い費	0		0	0	0	
印刷製本費	60,000		60,000	89,435	29,435	
通信費	254,000		254,000	167,081	86,919	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
横浜市への支払分	0		0	0	0	
その他	0		0	0	0	
備品購入費	200,000		200,000	8,235	191,765	
図書購入費	0		0	0	0	
施設賠償責任保険	17,500		17,500	0	17,500	
職員等研修費	20,000		20,000	7,319	12,681	
振込手数料	0		0	0	0	
リース料	59,000		59,000	8,157	50,843	
手数料	0		0	648	648	
地域協力費	0		0	0	0	
その他	81,500		81,500	995,262	913,762	
<b>事業費</b>	<b>1,190,000</b>	<b>0</b>	<b>1,190,000</b>	<b>878,086</b>	<b>311,914</b>	
協力医	630,000		630,000	504,000	126,000	予算:指定額
指定管理料充当自主事業(包括)	100,000		100,000	1,680	98,320	
指定管理料充当自主事業(介護予防)	151,000		151,000	190,378	39,378	予算:指定額
指定管理料充当自主事業(生活支援)	309,000		309,000	182,028	126,972	予算:指定額
<b>管理費</b>	<b>2,221,000</b>	<b>0</b>	<b>748,000</b>	<b>1,559,081</b>	<b>85,852</b>	
建築物・建築設備点検	0		0	0	0	予算:指定額
光熱水費	0	0	0	896,933	0	
電気料金			0	0	0	
ガス料金			0	0	0	内訳が一致していません
水道料金			0	0	0	
清掃費	240,250		240,250	237,603	2,647	
修繕費	126,000		126,000	98,304	27,696	予算:指定額
機械警備費	36,000		36,000	38,559	2,559	
設備保全費	345,750	0	345,750	225,728	120,022	
空調衛生設備保守	102,500		102,500	107,956	5,456	
消防設備保守	4,800		4,800	5,143	343	
電気設備保守	11,000		11,000	9,754	1,246	
害虫駆除清掃保守	6,050		6,050	6,858	808	
駐車場設備保全費	0		0	3,810	3,810	
その他保全費	221,400		221,400	92,207	129,193	
共益費	0		0	0	0	
その他	0		0	61,954	61,954	
<b>公租公課</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	
事業所税			0	0	0	
消費税	0		0	0	0	
印紙税			0	0	0	
その他( )			0	0	0	この列は入力しない
事務経費 (計算根拠を説明欄に記)	0	0	0	0	0	
本部分			0	0	0	
当該施設分			0	0	0	
二一ズ対応費			0	0	0	
<b>支出合計</b>	<b>31,692,000</b>	<b>0</b>	<b>30,219,000</b>	<b>26,175,317</b>	<b>4,940,616</b>	
<b>差引</b>	<b>0</b>	<b>1,174,370</b>	<b>298,630</b>	<b>4,357,623</b>	<b>4,955,926</b>	

自主事業費収入	560,000			10,000		予算:指定管理料に含む
自主事業費支出	560,000			374,086		
自主事業収支	0			364,086		⇒自主事業(指定管理料充当の自主事業)費

管理許可・目的外使用許可収入	0			0		駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人
管理許可・目的外使用許可支出	0			3,810		使用料(横浜市への支払等)・駐車場設備保全費
管理許可・目的外使用許可収支	0			3,810		

平成 29年度 地域ケアプラザ収支報告書<介護保険事業分>

施設名: 麦田地域ケアプラザ

平成29年4月1日～平成30年3月31日

(単位: 千円)

	科目	介護予防支援	居宅介護支援	通所介護・予防 通所介護・第1 号通所介護	
収入	介護保険収入	2991	13731	95009	
	その他	4946	828	303	0
	介護予防ケアマネジメント 費	4946	420	0	
	事業・負担金収入	0	0	0	
		0	408	0	
		0	0	0	
		0	0	0	
	その他	0	0	303	
収入合計(A)		7937	14559	95312	0
支出	人件費	2963	14187	59730	
	事務費	8	34	501	
	事業費	47	720	12399	
	管理費	0	198	14266	
	その他	4260	347	6295	0
	利用者負担軽減額	0	0	141	
	消費税	0	0	0	
	介護予防プラン委託料	4260	0	0	
		0	0	0	
	その他	0	347	6154	
支出合計(B)		7278	15486	93191	0
収支 (A) - (B)		659	-927	2121	0

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業(認知症対応型通所介護等の事業)を実施している場合は、事業ごとに列を増やして同じように記載をしてください。

# 平成29年度 自主事業報告書

## 横浜市麦田地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ふれあいサロン	<p>&lt;目的&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 地域の高齢者の閉じこもりの防止と仲間づくりを図る</li> <li>2. 高齢者と民生委員児童委員、ケアプラザとの関係を強化する</li> </ol> <p>&lt;内容&gt;</p> <p>独居または日中独居の高齢者を対象としたサロン事業 * 第三地区社協主催、ケアプラザ共催による</p>	毎月第2木曜 年12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
高齢者サロン 「麦麦ハッピーくらぶ」	<p>&lt;目的&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 地域の高齢者の閉じこもりの防止と仲間づくりを図る</li> <li>2. ボランティアの活動のきっかけづくりの場や担い手育成の場とする</li> </ol> <p>&lt;内容&gt;</p> <p>ハマちゃん体操と余暇活動等を通じた健康づくり及び仲間づくり</p>	毎月第3木曜 年12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
軽度認知症高齢者 対象のミニデイ 「月曜喫茶室」	<p>&lt;目的&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 高齢者の外出機会の確保と介護にかかる家族の負担軽減を図る</li> <li>2. 認知症の予防と現状の維持を図る</li> </ol> <p>&lt;内容&gt;</p> <p>認知症の高齢者を対象としたミニデイサービスをボランティアが中心となって実施</p>	毎月第2.4月曜 年22回 10月23日は台風のため中止 1月22日は雪のため中止

事業名	目的・内容	実施時期・回数
子育てサロン 「むぎた子育てサロン」	<p>&lt;目的&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 住まいに近い場所で、親（養育者）同士の交流や情報交換、親子でリフレッシュができる場を設定する</li> <li>2. 子どもが集団活動を体験する場とする</li> <li>3. 親や関係機関とのネットワークを強化する</li> </ol> <p>&lt;内容&gt;</p> <p>子育て中の親子で集えるサロン事業 * 第三地区社協との共催事業</p>	毎月第4水曜 年12回（平成29年12月は第3週水曜）

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
子育てサロン 「仲尾台子育てサロン」	<p>&lt;目的&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 住まいに近い場所で、親（養育者）同士の交流や情報交換、親子でリフレッシュができる場面を設定する</li> <li>2. 子どもが集団活動を体験する場とする</li> <li>3. 親や関係機関とのネットワークを強化する</li> </ol> <p>&lt;内容&gt;</p> <p>子育て中の親子で集えるサロン（サテライト）事業 * 第三地区社協との共催事業</p>	毎月第2水曜 年12回

# 平成29年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
子育て支援 「西之谷読み 聞かせ会」	<p>&lt;目的&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 住まいに近い場所で、親（養育者）同士の交流や情報交換、親子でリフレッシュができる場面を設定する</li> <li>2. 子どもが集団活動を体験する場とする</li> <li>3. 親や関係機関とのネットワークを強化する</li> </ol> <p>&lt;内容&gt;</p> <p>子育て中の親子向け絵本などの読み聞かせ            * 西之谷町内会主催            * 第三地区社協と麦田地域ケアプラザが支援</p>	毎月第1水曜 年12回 (平成29年5月と平成 30年1月は第2水曜)

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
父親向け子育て講座	<p>&lt;目的&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 住まいに近い場所で、親（養育者）同士の交流や情報交換、親子でリフレッシュができる場面を設定する</li> <li>2. 子どもが集団活動を体験する場とする</li> <li>3. 親や関係機関とのネットワークを強化する</li> </ol> <p>&lt;内容&gt;</p> <p>* 父親を対象とした子育て支援            * 子育て支援拠点「のんびりんこ」と共催</p>	10月21日1回 11月4日1回 1月27日1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
障がい児余暇 支援事業	<p>&lt;目的&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 障がい児の余暇活動をサポートし、同時に障がい児の家族支援を行う</li> <li>2. ケアプラザが障がいのある子ども達やその家族にとって身近な場所となるようPRし、関係づくりを行う</li> </ol> <p>&lt;内容&gt;</p> <p>原則として中区在住の障がい児の余暇（夏期もしくは冬期の長期休み）            活動をサポートする事業を実施する            * 新山下地域ケアプラザと共催</p>	8月1日1回 8月7日1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
知的障がい者 余暇サークル 「クラブQ」	<p>&lt;目的&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 知的障がいのある方の仲間づくり、社会性習得や余暇の充実を図る</li> <li>2. 職場や家庭以外に集える居場所を確保する</li> <li>3. 知的障がいのある方や関係機関との関係を強化する</li> </ol> <p>&lt;内容&gt;</p> <p>一般就労中の知的障がい者のサークル活動（主な対象は若い世代）            * 中区障がい者支援スペース「ぽーと」と共催</p>	毎月第4金曜 年12回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
介護サービス従事者 と介護者のリフレ ッシュスペース 「麦の穂」	<p>&lt;目的&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 福祉従事者や介護者がリフレッシュできる場を確保する</li> <li>2. 福祉に関する情報を提供する</li> </ol> <p>&lt;内容&gt;</p> <p>地域で活動する福祉従事者への情報提供とリフレッシュの場</p>	毎日 (施設点検日をのぞく)



# 平成29年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ケアマネサロン (区内CPとの共催)	<p>&lt;目的&gt; 中区で活動しているケアマネジャーを対象に、テーマ別情報交換・事例検討などを通じてつながりづくりとケアマネジメントスキル向上を目指す</p> <p>&lt;内容&gt; インフォーマルサービスの情報共有及びマップの作成 生活支援コーディネーターと連携した地域情報の共有</p>	5月24日 8月23日 11月22日 2月28日

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
介護予防従事者研修 (区内地域包括支援センター共催)	<p>&lt;目的&gt; 中区で活動しているケアマネジャーを対象に、介護予防、ICFの理解浸透と介護予防支援・ケアマネジメントスキルの向上を目指す</p> <p>&lt;内容&gt; 介護予防、ICFについて、介護予防支援・ケアマネジメントについて</p>	12月18日 年1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
認知症の方の介護者のための介護教室	<p>&lt;目的&gt; 認知症の方の介護者がリフレッシュでき、いつまでも身体も気持ちも「いきいき」と介護を続けていけることを目的とする。</p> <p>&lt;内容&gt; 臨床心理士によるこころのケア講座・介護者同士の情報共有とリフレッシュの場</p>	10月31日 年1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
【区内ケアプラザ共催】 新任・就労予定ケアマネジャーに対する研修・実習等の開催	<p>&lt;目的&gt; 基本的なケアマネジメントプロセスや技術、制度活用の理解を実践的に学ぶ機会を提供し、新任ケアマネジャーのスキルアップを図る</p> <p>&lt;内容&gt; ケアマネジャーを取り巻く環境や中区のケアマネ支援体制についての紹介、サービス提供事業所・施設等の見学、横浜市一般行政サービスの内容に関する研修</p>	8月15日 9月19日 10月17日 11月21日

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
第3期 地域福祉保健計画 「中なかいいネ！」 地区別計画推進	<p>&lt;目的&gt; 1. 地域福祉保健計画の地区別課題への取組みを通じ、地域課題へアプローチする 2. 委員同士、委員と関係機関とのネットワークを強化する 3. 自治会町内会単位で市民のつながりを生かす取組みを広げる</p> <p>&lt;内容&gt; 地区別計画推進の為、ボランティアグループ立ち上げを検討。</p>	6月1日、9月7日 12月7日、2月6日

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
地域ふれあいまつりの実施	<p>&lt;目的&gt; 1. 第3期計画にある「第3地区の“えん”結び」「第3地区の仲間づくり」を具体的に実施する場を設定する 2. 地区社協について周知するとともに、機能を強化する</p> <p>&lt;内容&gt; 住民が気軽に参加できる“まつり”形式でのイベントを開催する</p>	3月25日



# 平成29年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
権利擁護事業	<p>&lt;目的&gt; 地域住民を対象に、成年後見・相続・遺言等に関する講座を開催し、権利擁護に関する啓発を行う</p> <p>&lt;内容&gt; 行政書士の専門職を招いて、地域住民向けに相続や遺言に関する講座を事例などを通して分かりやすく説明する。麦田町町内会との共催とする。</p>	7月15日11月26日にそれぞれ1回ずつ開催

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
介護予防教室 (介護予防普及強化委託業務)	<p>&lt;目的&gt; ロコモ予防のための体力・筋力づくり</p> <p>&lt;内容&gt; ハマトレ実施 栄養指導</p>	2コース (9月～11月、2月～3月に実施)

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
健康教育・出前講座 (介護予防普及強化委託業務)	<p>&lt;目的&gt; 1. 地域ケアプラザの事業や活動を周知する 2. 健康・介護予防に関することや消費者被害など高齢者の生活に役立つ情報提供と地域の集いの場としての機能を強化する</p> <p>&lt;内容&gt; 職員が地域の集まりに出向き、認知症予防や介護予防に関する啓発を実施</p>	年間通して老人会やサロンに出張し実施 (10か所)

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ボランティアスキルアップ研修 (3Aプログラム)	<p>&lt;目的&gt; ゲームを通して、発病の有無に関わらず意欲や記憶力が沸き、イキイキと生活ができるように脳の活性化を図る。地域の担い手がサロンや食事会などで簡単に行える認知症予防の方法を習得する。</p> <p>&lt;内容&gt; スリーAという脳活性化ゲームを活用しながらの認知症予防プログラム</p>	6月(ふれあいサロン)にて実施

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
【区内6ケアプラザ、区社協共催】 ボラたま！障がい児 余暇支援事業ボラン ティア入門講座	<p>&lt;目的&gt; 1. 長期休暇(主に夏休み)の障がい児余暇支援事業に携わるボランティアの育成(担い手育成・人材発掘) 2. 障がいのある子ども達との関わり方を学ぶ(障がい理解) 3. 障がいのある子ども達の地域生活を支援するサポーターを増やす(普及・啓発)</p> <p>&lt;内容&gt; 知的障がいの疑似体験、グループワーク</p>	7月1日1回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
ボランティア交流会	<p>&lt;目的&gt; 1. ケアプラザ内外でボランティア活動をしている方や団体同士の情報交換・交流 2. ボランティアからケアプラザへ、意見を直接うかがう機会を設定</p> <p>&lt;内容&gt; ボランティア活動をされている方同士の横のつながり作り及び情報交換会</p>	2月22日1回

# 平成29年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
D I Y講座	<p>&lt;目的&gt; D I Yをきっかけとした趣味作り、担い手の育成</p> <p>&lt;内容&gt; 庭木剪定、包丁の研ぎ方、網戸張り替え、ワインラック製作</p>	1月20, 27日 2月10, 17日 全4回

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
麦田町発展会「認知症サポーター養成講座」	<p>&lt;目的&gt; 認知症への理解啓発、見守り体制づくり</p> <p>&lt;内容&gt; 認知症サポーターとは、認知症の基礎知識、ケアプラザ紹介、座談会</p>	3月22日

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
仲尾台中福祉教育	<p>&lt;目的&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ケアプラザ及び福祉についての啓発</li> <li>・中学生が自分にできることを発見する</li> </ul> <p>&lt;内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校での福祉講話（ケアプラザについて・認知症について）</li> </ul>	11月28日

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
子育てサポートシステム入会説明会	<p>&lt;目的&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の中で子どもを預けたり、預かったりすることで人と人とのつながりを広げる。</li> <li>・地域ぐるみでの子育て支援をめざす</li> </ul> <p>&lt;内容&gt; システムの説明と入会の案内</p>	10月18日

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
高齢者住宅との連携事業	<p>&lt;目的&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・エリア内に4棟の高齢者住宅があり、独居又は高齢者のみ世帯が多く住む高齢者住宅相談員との連携強化</li> <li>・地域から見えにくく、地域とのつながりが希薄化し、孤立しがちな集合住宅と地域をつなぐ事</li> </ul> <p>&lt;内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者住宅相談員とのカンファレンス</li> <li>・高齢者住宅相談室を活用した出張講座</li> </ul>	3月20日

平成29年度 自主事業収支報告書

資料4-1

施設名 事業名	①主な対象者 ②参加人数 ③一人当たり参加費	自主事業決算額							
		総経費	収入			支出			
			指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
ふれあいサロン(共催) (経費は地区社協にて管理)	高齢者	0	地活	0		0	0	0	
	342人		包括						
	(100円)		生活						
高齢者サロン 「表麦ハッピーくらぶ」	高齢者	24,793	地活	2,393	22,400	▲途中参加等のため未徴収者あり(11名)	0	24,793	0
	参加者:235人		包括						
	100円		生活						
軽度認知症高齢者等対象 ミニデイ「月曜喫茶室」	高齢者	75,180	地活	23,580	51,600	▲参加者の参加費(483名×100円)+ボランティア参加費(33名×100円)	0	75,180	0
	参加者:483人		包括						
	100円		生活						
健康麻雀教室	高齢者	0	地活	0	0		0	0	0
	96人		包括						
	なし		生活						
子育てサロン 「むぎた子育てサロン」	未就学児と養育者	13,764	地活	6,264	7,500		0	5,364	8,400
	414人		包括						
	50円(1組)		生活						
子育てサロン 「仲尾台子育てサロン」	未就学児と養育者	6,720	地活	4,670	2,050		0	0	6,720
	159人		包括						
	50円(1組)		生活						
子育て支援 「西之谷読み聞かせ会」	未就学児と養育者	8,064	地活	8,064	0		0	0	8,064
	230人		包括						
	なし		生活						
子育て講座 子育て支援拠点「のんびりんこ」と共催 (行事保険のみ負担、他経費は「のんびりんこ」負担)	未就学児と養育者	980	地活	980	0		0	0	980
	87人		包括						
	なし		生活						
障害児余暇支援事業	障害児	16,125	地活	12,125	4,000		3,400	11,885	840
	参加者:26人		包括						
	500円		生活						
知的障がい者対象の 余暇サークル「クラブQ」(共催) (参加費等経費は中区障がい者支援 スペース「ほーと」にて管理)	知的障がい者	0	地活	0	0		0	0	0
	107人		包括						
	(100円)		生活						
麦田町発展会ハロウィン (麦田町発展会と共催)	小学生以下とその保護者	1,382	地活	1,382	0		0	1,382	0
	160人		包括						
	なし		生活						
新任・就労予定ケアマネ ジャー に対する研修・実習等の開催 (区内CPとの共催)	新任ケアマネ	0	地活	0	0		0	0	0
	21人		包括						
	なし		生活						
福祉従事者等リフレッシュ スペース「麦の穂」	福祉従事者等	0	地活	0	0		0	0	0
	61人		包括						
	なし		生活						
ケアマネサロン (区内CPとの共催)	ケアマネ	0	地活	0	0		0	0	0
	28人		包括						
	なし		生活						
介護予防支援従事者研修 (区内CPとの共催)	中区ケアマネジャー	0	地活	0	0		0	0	0
	36名		包括						
	なし		生活						
認知症の方の介護者の ための介護教室	地域住民	0	地活	0	0		0	0	0
	5名		包括						
	なし		生活						
第3期 地域福祉保健計画 「中なかいいネ！」 地区別計画の推進	地域住民	0	地活	0	0		0	0	0
	未定		包括						
	なし		生活						

## 平成29年度 自主事業収支報告書

事業名	①主な対象者	自主事業決算額							
	②参加人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
権利擁護事業	地域住民	680	地活	680	0	0	0	680	
	35人		包括						
	なし		生活						
介護予防教室 (介護予防普及強化委託)	地域住民	117,225	地活	117,225	0	80,000	32,745	4,480	
	94人		包括						
	なし		生活						
健康教育・出前講座 (介護予防普及強化委託)	地域住民	0	地活	0	0	0	0	0	
	延べ199人		包括						
	なし		生活						
ボランティアスキルアップ 研修 (3Aプログラム)	地域住民	10,560	地活	10,560	0	10,000	0	560	
	29人		包括						
	なし		生活						
ポラたま！障害児余暇支援事業 ボランティア入門講座 (区内CP等と共催)	地域住民	2,500	地活	2,500	0	2,500	0	0	
	22人		包括						
	なし		生活						
ボランティア交流会	ボランティア	3,011	地活	3,011	0	0	3,011	0	
	30人		包括						
	なし		生活						
DIY講座	地域住民	84,816	地活	74,816	10,000	56,000	24,064	4,752	
	46人		包括						
	1000円		生活						
麦田町発展会「認知症 サポーター養成講座」	地域住民	0	地活	0	0	0	0	0	
	11人		包括						
	なし		生活						
地域ふれあいまつりの 実施 (経費は地区社協にて管理)	地域住民	1,382	地活	1,382	0	0	0	1,382	
	400人		包括						
	なし		生活						
仲尾台中福祉教育	地域住民	0	地活	0	0	0	0	0	
	142人		包括						
	なし		生活						
子育てサポートシステム 入会説明会	地域住民	0	地活	0	0	0	0	0	
	4人		包括						
	なし		生活						
高齢者住宅との連携事業	地域住民	0	地活	0	0	0	0	0	
	16人		包括						
	なし		生活						
		365,800		268,250	97,550	0	151,900	178,424	35,476

事業ごとに別紙に記載してください。